

令和4年度第2回学校運営協議会議事録

令和4年10月12日(水) 9:30~11:00

天竜特別支援学校 会議室

1 出席者

(1) 委員

尾関ゆかり氏、石田雄士氏、出沢茂氏、坪井康人氏、奈良志保氏

(2) 学校関係者

校長、副校長、事務長、小学部主事、中学部主事、高学部主事、訪問主任、教務課長

2 内容

(1) 校長挨拶

- ・昨年まで2期制、本年度から3期制で実施している。その中でも、2大行事(修学旅行、翔杉祭)の修学旅行は、台風の影響で1日短縮されたが無事に実施できた。
- ・台風15号の影響は大きく、県内中部の清水特支の被害が大きかった。学校再開に向けての校内体制の重要性を感じている。
- ・年明けに新型コロナ感染の第8波が予想されている。今後も継続して感染症対策を行っていく。

(2) 授業参観

※各クラス1~2分程度の参観

(3) 翔杉祭ビデオ鑑賞

※各学部5分程度(訪→小→中→高)

(4) 意見交換

① 授業参観やビデオ鑑賞の感想

委員A…小中学生の入院中、天特でできたことを保護者は知りたいと思っているのではないかと。せっかく頑張ってきたことを紹介できる機会である翔杉祭・作品展示を保護者が見られないのは残念である。

委員B…高等部の保護者は翔杉祭に来られるが、他の学部の保護者への説明・紹介はどのようにしていくのか。

学校…退院時に保護者に動画や写真、作品を見せることで対応していく。

委員B…児童生徒の頑張りを知ってもらうためには、ネット上にアップするなどして公にできるとよいのではないかと。

学校…公表できない児童生徒もいるのでなかなか難しい。

委員B…高等部は生徒が動画を編集したようだが、他学部は教員が行ったのか。

学校…中学部も生徒が動画の編集をしている。

学校…小学部は高学年の児童がプログラミング学習の一環として、クイズのプレゼンテーションや各学年のタイトル画面を作成している。

委員C…少人数で子供に合った授業が行われている。教室の規模に合わせたICT機器

も活用していて、非常に効果的ではないかと感じる。校舎内の作品を見て、児童生徒の活動の様子がよく分かる。とても華やかな感じがした。

委員D…文化祭(学習発表会)は、子供も保護者も日頃の学習を振り返ることができる良い機会である。先生方が児童生徒のやる気を引き出す工夫をしている。訪問教育においても同様に、もてる力を最大限に引き出す工夫がされていた。発達障害の子供たちは自己肯定感が低く、自分の好きなことや頑張れることを見つけることが難しい子供が多いため、天特での行事や体験を通して児童生徒が成長できることを期待している。

委員E…子供一人ひとりの良さを引き出そうとしている先生方の姿がとても嬉しい。文化祭の様子は、youtube の期間限定配信を活用するのも一手ではないか。多くの保護者に子供たちの意欲と頑張りを知ってもらいたい。

② 地域とのかかわり～今後取り組みそうなこと～

「地域の方々と一緒に 地域のために 地域に知ってもらうために」

各部主事・訪問主任から平成 29 年から令和 3 年度までの地域とのつながりと、今後取り組みそうなことを報告

委員A…コロナ禍で交流が難しいと思うが、天竜厚生会との繋がりが心強い。地域の捉え方を天竜区内だけでなく、もっと範囲を広げてもよいのではないか。近隣地域に限定することなく、団体との交流もありなのでは。

委員B…コロナ慣れしている現状がある。戻すべきところは戻していきたいと考えている。コロナ対応は必要最低限としたい。みゅうの丘全体でコロナ対応をどのように捉えているかが見えていないので、各々の対応になってしまっている。地域との交流の方法としては、地域の方へのアンケート調査やオンラインの活用など、意見交換をする必要性を感じる。

委員C…赤佐 12 区は赤佐の中で一番小さく、年配者が多いため交流は難しい状況。11 月に行われる「地域触れ合い交流会」の際に公民館で作品展示をしているので、その時に本校の作品を展示することは可能だと思われる。

委員D…良いアイデアが出されている。地域の団体の方々と相談して、少しずつ交流ができるとよい。作品展示は子供のことを知ってもらう良い機会なので、展示できる場所を探っていくことが大事である。

委員E…卒業後も繋がれる団体との交流を強く望む。家族や会社以外の場所で関わりを持てる交流があると、子供の居場所が増える。例を挙げるなら、鉄道やアニメ好きな生徒に対しては、天浜線沿線の清掃活動を校外学習で実施できると意欲をもって継続参加でき、卒業後の生活の幅が広がるのではないかと思う。

学校…地域の団体と話をしていくことが大切だと感じた。今まではコロナ禍で安全策を取っていたが、無理のない程度に関わりを増やしていきたい。